



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年5月1日

上場会社名 株式会社ニッカトー 上場取引所 東
 コード番号 5367 URL <https://www.nikkato.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 宏司
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理部長 (氏名) 濱田 悦男 TEL 072-238-3641
 定時株主総会開催予定日 2025年6月20日 配当支払開始予定日 2025年6月23日
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月18日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期の業績 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	10,077	△1.6	637	△30.5	720	△27.5	504	△28.3
2024年3月期	10,239	△4.6	918	△16.7	992	△15.7	702	△16.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	42.16	—	3.8	4.2	6.3
2024年3月期	58.81	—	5.5	5.8	9.0

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 一百万円 2024年3月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	17,125	13,113	76.6	1,097.65
2024年3月期	17,191	13,073	76.0	1,095.31

(参考) 自己資本 2025年3月期 13,113百万円 2024年3月期 13,073百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	1,677	△926	△493	3,643
2024年3月期	785	△398	△509	3,385

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	11.00	—	13.00	24.00	290	41.3	2.2
2025年3月期	—	10.00	—	11.00	21.00	254	50.4	1.9
2026年3月期(予想)	—	10.00	—	11.00	21.00		35.5	

3. 2026年3月期の業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,920	△0.2	455	23.5	475	16.6	333	17.0	27.87
通期	10,140	0.6	966	51.5	1,009	40.2	706	40.2	59.10

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期	12,135,695株	2024年3月期	12,135,695株
② 期末自己株式数	2025年3月期	188,972株	2024年3月期	200,456株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	11,943,869株	2024年3月期	11,935,379株

（注）期末自己株式数には「株式会社日本カストディ銀行（信託E口）」が保有する当社株式（2025年3月期144,438株、2024年3月期156,000株）が含まれております。また、「株式会社日本カストディ銀行（信託E口）」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2025年3月期147,329株、2024年3月期91,000株）。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(重要な会計上の見積り)	12
(セグメント情報等)	13
(持分法損益等)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、1月のトランプ政権発足に伴い米国第一主義に基づく、特に相互関税による国ごとの追加課税の問題が大きく、今後輸出が停滞する可能性も出てきており、特にアジア諸国における景気への影響やわが国製造業の企業収益に大きな打撃を受ける可能性等、その影響により賃金や設備投資が伸び悩み、景気が後退するリスクが見込まれる先行き予断を許さない状況下にあります。一方当社の主力販売先である電子部品業界の在庫調整は落ち着き、下半期は受注改善傾向にて順調に推移していましたが、一部製品在庫の市場動向を見据え113,474千円の棚卸資産の評価損を実施しました。

このような状況の中、当社事業全体の売上高は前年同期比1.6%減の10,076,578千円となりました。損益面につきましては、営業利益は前年同期比30.5%減の637,832千円、経常利益は前年同期比27.5%減の719,756千円、当期純利益は前年同期比28.3%減の503,567千円となりました。事業別の状況としてセラミックス事業は、当社主力販売先である電子部品業界の市況について、下期は改善傾向にありましたものの上半期の低調分をカバーできなかったことが影響し、売上高は前年同期比1.7%減の7,405,514千円となりました。利益面については、上述いたしましたが市場動向を踏まえ一部製品の仕掛品を評価損したことや原燃料価格等の上昇によるコスト増により、売上原価率が前年同期比3.4ポイント増加した結果、セグメント利益が前年同期比37.8%減の448,532千円となりました。一方、エンジニアリング事業につきましては、売上高が前年同期比1.4%減となりましたものの、自動車・重機関連等を中心に設備投資が昨年来堅調に推移した結果2,671,063千円となりました。セグメント利益については、売上原価率や経費については前年同期比ほぼ横ばいで推移したことから、減収によるものが大きく前年同期比4.0%減の189,300千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の財政状態につきましては、総資産が前期末比0.4%減の17,124,855千円となり、内訳として流動資産が前期末比微増の10,091,569千円、固定資産が前期末比1.0%減の7,033,285千円となりました。流動資産の増加要因については、売掛債権が前期末比8.1%減少し現金化が進んだことで、現金及び預金が前期末比7.6%増加したことによるものです。固定資産の主な減少要因は、建物や機械及び装置の取得により有形固定資産が前期末比4.1%増加しましたが、投資有価証券の時価下落により投資その他の資産が前期末比10.6%減少したものであります。

一方、負債は前期末比2.6%減の4,011,494千円となりました。内訳として、流動負債が前期末比5.9%増の3,496,139千円、固定負債が前期末比37.0%減の515,355千円となりました。流動負債の主な増加要因は仕入債務が前期末比19.0%増加したことであり、固定負債の主な減少要因は長期借入金の返済により前期末比66.8%減少したものであります。

最後に純資産は前期末比0.3%増の13,113,360千円となりました。内訳としては、利益剰余金が前期末比2.3%増の10,012,279千円、評価・換算差額等が前期末比23.2%減の635,746千円となりました。利益剰余金の増加要因は当事業年度の内部留保の蓄積により繰越利益剰余金が前期末比5.0%増加したものであり、評価・換算差額等の減少要因は株価下落に伴うその他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

	前事業年度 (千円)	当事業年度 (千円)	前年同期比増減額 (千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	785,118	1,676,675	891,557
投資活動によるキャッシュ・フロー	△398,902	△925,637	△526,735
財務活動によるキャッシュ・フロー	△509,929	△493,090	16,838
現金及び現金同等物期末残高	3,384,604	3,642,551	257,947
借入金期末残高	935,236	720,844	△214,392

当事業年度末における現金及び現金同等物は3,642,551千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前当期純利益が717,534千円と前年同期比266,595千円減少し、売上債権が303,189千円と前年同期比476,456千円、仕入債務が311,757千円と前年同期比685,609千円それぞれ減少し、加えて法人税等の支払額が△185,662千円と前年同期比218,969千円減少しました。結果、営業活動によるキャッシュ・フローは1,676,675千円と前年同期比891,557千円収入が増加いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産体制の充実と合理化および既存設備の更新や耐震補強工事等の設備投資を実施したことで、有形固定資産の取得による支出が△895,760千円と前年同期比502,987千円増加しました。結果、投資活動によるキャッシュ・フローは△925,637千円と前年同期比526,735千円支出が増加いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出、配当金の支払額が前年同期比ほぼ横ばいで推移しました。結果、財務活動によるキャッシュ・フローは△493,090千円と前年同期比16,838千円支出が減少いたしました。

(4) 今後の見通し

当事業年度は、昨年来長期化するウクライナ情勢と中東情勢の地政学上リスクが引続き深刻な状況は変わらず、加えて1月のトランプ政権発足による米国第一主義に基づく追加関税の問題やこれによる米中問題が一層激しさを増し、アジア諸国をはじめわが国の景気の下押し圧力が強まるリスクとなり、結果景気が後退する可能性もあります。このような環境下、当社は来年度2025年から2030年度に向けた中期計画「CONNECT30」がスタートします。この「CONNECT30」における軸は、今まで同様当社の理念、ビジョンを中心に新しく役職員一同でスローガン「まずやってみる、未来のために。」と題し、上述のような地政学上のリスク並びにトランプ政権の不透明感、世界の分断現象等々経営環境は複雑で見通しが非常に予測しづらい状況にありますが、2030年に向け当社の主力のセラミックス事業単体で売上高100億円、エンジニアリング部は売上高30億円、営業利益率15%とする過去最高値を目標とします。また、今般の中期計画におけるスローガン「まずやってみる、未来のために。」はこのような環境下だからこそ、まず行動し皆で考え前に進む意識で取組むことが必要であり、かつ戦略的な将来への投資も積極的に実施し、しっかりと将来への礎を築き上げてまいります。そうした取り組みが企業価値を向上させ、持続的な成長へのつながり、この取組の結果がPBR1倍割れとなる低位推移する株価改善へとつながるものと考えておりますので、引続き株主の皆様方のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の事業は、現在ほぼ国内に限定されており海外での事業展開がないこと及び子会社がないことから、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移、また同業他社の I F R S（国際財務報告基準）採用を踏まえ、I F R S の検討を進める方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,384,604	3,642,551
受取手形	257,992	217,888
電子記録債権	991,150	872,887
売掛金	2,509,142	2,364,099
契約資産	-	220
商品	71,425	66,291
製品	772,721	853,553
原材料	298,787	243,254
仕掛品	1,567,034	1,566,015
貯蔵品	205,104	241,128
仮払金	1,518	1,871
未収入金	3,769	3,737
前払費用	20,222	18,070
流動資産合計	10,083,474	10,091,569
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,531,178	5,767,045
減価償却累計額	△3,165,817	△3,313,772
建物(純額)	2,365,361	2,453,273
構築物	314,880	350,998
減価償却累計額	△197,172	△210,115
構築物(純額)	117,708	140,882
機械及び装置	8,722,723	8,964,026
減価償却累計額	△7,566,853	△7,726,163
機械及び装置(純額)	1,155,870	1,237,862
車両運搬具	61,048	56,759
減価償却累計額	△54,767	△52,294
車両運搬具(純額)	6,281	4,465
工具、器具及び備品	1,462,893	1,459,126
減価償却累計額	△1,362,591	△1,373,308
工具、器具及び備品(純額)	100,301	85,817
土地	904,808	904,808
建設仮勘定	11,964	24,275
リース資産	7,506	11,400
減価償却累計額	△6,821	△7,895
リース資産(純額)	684	3,505
有形固定資産合計	4,662,980	4,854,889
無形固定資産		
ソフトウェア	97,524	78,922
電話加入権	4,132	4,132
無形固定資産合計	101,657	83,055

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	2,186,755	1,942,568
従業員に対する長期貸付金	947	447
長期前払費用	321	612
前払年金費用	122,989	120,601
敷金及び保証金	31,556	31,066
事業保険積立金	34	44
投資その他の資産合計	2,342,604	2,095,340
固定資産合計	7,107,242	7,033,285
資産合計	17,190,716	17,124,855
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	481,083	388,001
買掛金	1,156,850	1,561,690
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	214,392	214,392
営業外電子記録債務	172,332	108,231
未払金	432,820	403,465
未払消費税等	40,461	1,144
未払法人税等	79,415	137,242
未払費用	739	1,096
預り金	12,891	16,430
契約負債	24,180	150
賞与引当金	249,300	235,570
役員賞与引当金	29,651	22,272
役員株式給付引当金	5,101	3,791
リース債務	684	778
その他	616	1,879
流動負債合計	3,300,519	3,496,139
固定負債		
長期借入金	320,844	106,452
長期未払金	82,797	70,265
役員株式給付引当金	2,186	4,424
長期預り保証金	85,270	85,291
資産除去債務	61,122	61,188
繰延税金負債	265,168	185,007
リース債務	-	2,726
固定負債合計	817,388	515,355
負債合計	4,117,908	4,011,494

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320,740	1,320,740
資本剰余金		
資本準備金	1,088,420	1,088,420
その他資本剰余金	162,943	162,943
資本剰余金合計	1,251,363	1,251,363
利益剰余金		
利益準備金	205,810	205,810
その他利益剰余金		
別途積立金	5,100,000	5,100,000
繰越利益剰余金	4,480,999	4,706,469
その他利益剰余金合計	9,580,999	9,806,469
利益剰余金合計	9,786,809	10,012,279
自己株式	△113,712	△106,770
株主資本合計	12,245,201	12,477,613
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	827,606	635,746
評価・換算差額等合計	827,606	635,746
純資産合計	13,072,807	13,113,360
負債純資産合計	17,190,716	17,124,855

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高		
製品売上高	7,529,800	7,405,514
商品売上高	2,709,600	2,671,063
売上高合計	10,239,400	10,076,578
売上原価		
製品期首棚卸高	1,157,698	772,721
商品期首棚卸高	66,318	71,425
当期製品製造原価	5,273,053	5,906,158
当期製品仕入高	97,074	116,321
当期商品仕入高	2,229,234	2,184,797
合計	8,823,380	9,051,425
製品期末棚卸高	772,721	853,553
商品期末棚卸高	71,425	66,291
他勘定振替高	60,544	77,404
売上原価合計	7,918,688	8,054,175
売上総利益	2,320,711	2,022,402
販売費及び一般管理費	1,402,391	1,384,570
営業利益	918,319	637,832
営業外収益		
受取利息	896	1,116
受取配当金	66,731	74,971
受取賃貸料	7,492	5,641
その他	10,617	12,746
営業外収益合計	85,738	94,476
営業外費用		
支払利息	6,253	7,001
コミットメントフィー	5,504	5,499
その他	81	50
営業外費用合計	11,840	12,552
経常利益	992,217	719,756
特別損失		
固定資産廃棄損	8,087	2,222
特別損失合計	8,087	2,222
税引前当期純利益	984,129	717,534
法人税、住民税及び事業税	241,000	241,800
法人税等調整額	41,222	△27,833
法人税等合計	282,222	213,966
当期純利益	701,907	503,567

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計
					別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	1,320,740	1,088,420	137,017	1,225,438	205,810	5,100,000	4,067,259	9,373,069
当期変動額								
剰余金の配当							△288,166	△288,166
当期純利益							701,907	701,907
自己株式の取得								
自己株式の処分			25,925	25,925				
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	25,925	25,925	-	-	413,740	413,740
当期末残高	1,320,740	1,088,420	162,943	1,251,363	205,810	5,100,000	4,480,999	9,786,809

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△87,665	11,831,583	562,030	562,030	12,393,613
当期変動額					
剰余金の配当		△288,166			△288,166
当期純利益		701,907			701,907
自己株式の取得	△94,345	△94,345			△94,345
自己株式の処分	68,298	94,224			94,224
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			265,575	265,575	265,575
当期変動額合計	△26,047	413,618	265,575	265,575	679,193
当期末残高	△113,712	12,245,201	827,606	827,606	13,072,807

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計
					別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	1,320,740	1,088,420	162,943	1,251,363	205,810	5,100,000	4,480,999	9,786,809
当期変動額								
剰余金の配当							△278,098	△278,098
当期純利益							503,567	503,567
自己株式の取得								
自己株式の処分								
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	225,469	225,469
当期末残高	1,320,740	1,088,420	162,943	1,251,363	205,810	5,100,000	4,706,469	10,012,279

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△113,712	12,245,201	827,606	827,606	13,072,807
当期変動額					
剰余金の配当		△278,098			△278,098
当期純利益		503,567			503,567
自己株式の取得	△41	△41			△41
自己株式の処分	6,983	6,983			6,983
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）			△191,859	△191,859	△191,859
当期変動額合計	6,942	232,412	△191,859	△191,859	40,552
当期末残高	△106,770	12,477,613	635,746	635,746	13,113,360

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	984,129	717,534
減価償却費	608,930	655,778
受取利息及び受取配当金	△67,627	△76,088
支払利息	6,253	7,001
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△47,123	2,387
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△28,247	-
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	7,288	927
固定資産廃棄損	8,087	2,222
売上債権の増減額 (△は増加)	△173,267	303,189
棚卸資産の増減額 (△は増加)	213,514	△55,169
その他の資産の増減額 (△は増加)	7,016	1,539
仕入債務の増減額 (△は減少)	△373,852	311,757
未払消費税等の増減額 (△は減少)	20,153	△39,316
その他の負債の増減額 (△は減少)	△36,631	△38,875
小計	1,128,624	1,792,887
利息及び配当金の受取額	67,627	76,088
利息の支払額	△6,501	△6,638
法人税等の支払額	△404,632	△185,662
営業活動によるキャッシュ・フロー	785,118	1,676,675
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△392,773	△895,760
貸付けによる支出	△1,000	-
貸付金の回収による収入	52	500
無形固定資産の取得による支出	△5,765	△30,857
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	583	480
投資活動によるキャッシュ・フロー	△398,902	△925,637
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△220,892	△214,392
自己株式の取得による支出	△94,345	△41
自己株式の売却による収入	94,224	-
リース債務の返済による支出	△934	△1,073
配当金の支払額	△287,981	△277,584
財務活動によるキャッシュ・フロー	△509,929	△493,090
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△123,712	257,947
現金及び現金同等物の期首残高	3,508,317	3,384,604
現金及び現金同等物の期末残高	3,384,604	3,642,551

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計上の見積り)

1 棚卸資産の評価

(1) 当事業年度の財務諸表に計上した金額

(千円)

	前事業年度	当事業年度
製品	772,721	853,553
仕掛品	1,567,034	1,566,015

(2) 当事業年度の財務諸表に計上した金額の算出方法

棚卸資産は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により評価しており、取得原価と当事業年度末における正味売却価額のいずれか低い方の金額で評価しております。当事業年度の評価損の金額は113,474千円であります。

(3) 当事業年度の財務諸表に計上した金額の算出に用いた主要な仮定

当社は顧客ニーズの状況に応じてある程度の見込み生産を行うことがあり、保有期間が長期に亘る棚卸資産は、将来の使用見込み等を鑑みて適宜廃棄処分を行っております。棚卸資産の正味売却価額は、様々な顧客ニーズの状況や経済環境の変化の影響を受けるため、直近の販売実績等を基礎として算出しております。

(4) 翌事業年度の財務諸表に与える影響

今後の顧客ニーズの状況や経済環境の変化が生じた場合には、追加の棚卸資産の評価損が計上される可能性があります。

2 繰延税金資産

(1) 当事業年度の財務諸表に計上した金額

(千円)

	前事業年度	当事業年度
繰延税金負債	265,168	185,007

(注) 繰延税金資産・繰延税金負債は相殺表示しております。

(2) 当事業年度の財務諸表に計上した金額の算出方法

繰延税金資産は、入手可能な将来の課税所得の見積りからその回収可能性が見込めないと考えられる場合には、評価性引当額の計上により繰延税金資産の金額を減額しております。

(3) 当事業年度の財務諸表に計上した金額の算出に用いた主要な仮定

当社は、繰延税金資産の回収可能性等に関する見積りは、中期経営計画を基礎とし将来の課税所得の見積りに基づき、繰延税金資産を計上しております。

(4) 翌事業年度の財務諸表に与える影響

繰延税金資産の回収可能性は将来の課税所得の見積りに依存するため、その見積りを前提とした条件や仮定に変更が生じ減少した場合、繰延税金資産が減額され税金費用が計上される可能性があります。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離され財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社の事業内容としてはセラミックス事業とエンジニアリング事業に大別されます。

セラミックス事業は、セラミックス製品を当社、堺工場および東山工場で製造し販売するもので、当社の製品は、ほとんどがエンドユーザーである電子部品、食品、薬品、塗料等の各メーカーにおける生産工程で使用されるセラミックス製の道具類、備品、機械部分等の消耗品であります。

エンジニアリング事業は、製造工場を持たず、加熱装置や計測機器等を商品として仕入れし販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	財務諸表計上額
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,529,800	2,709,600	10,239,400	—	10,239,400
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,529,800	2,709,600	10,239,400	—	10,239,400
セグメント利益	721,101	197,218	918,319	—	918,319
セグメント資産	10,918,746	2,637,136	13,555,882	3,634,834	17,190,716
その他の項目					
減価償却費	601,969	6,961	608,930	—	608,930
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	645,452	3,131	648,583	—	648,583

(注) 1 セグメント資産の調整額3,634,834千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2 セグメント負債の金額は、当社の最高意思決定機関に対して定期的に提供していないため記載しておりません。

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	財務諸表計上額
	セラミックス 事業	エンジニア リング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,405,514	2,671,063	10,076,578	—	10,076,578
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,405,514	2,671,063	10,076,578	—	10,076,578
セグメント利益	448,532	189,300	637,832	—	637,832
セグメント資産	11,386,999	1,827,259	13,214,259	3,910,596	17,124,855
その他の項目					
減価償却費	648,589	7,188	655,778	—	655,778
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	827,691	3,616	831,307	—	831,307

(注) 1 セグメント資産の調整額3,910,596千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2 セグメント負債の金額は、当社の最高意思決定機関に対して定期的に提供していないため記載しておりません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	1,095.31円	1,097.65円
1株当たり当期純利益金額	58.81円	42.16円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 「譲渡制限付株式給付信託(BBT-RS)が保有する当社株式を「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式数から控除する自己株式に含めております(前事業年度156,000株、当事業年度144,438株)。また「1株当たり当期純利益金額」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前事業年度91,000株、当事業年度147,329株)。
 3. 1株当たり当期純利益金額及び1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	701,907	503,567
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	701,907	503,567
普通株式の期中平均株式数(株)	11,935,379	11,943,869

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	13,072,807	13,113,360
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	13,072,807	13,113,360
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	11,935,239	11,946,723

(重要な後発事象)

該当事項はありません。